

理事長室から

木下 統晴



一円融合、積小為大の精神で

熊本保健科学大学に着任し、あっという間に1年が経過、時間の過ぎるスピードに驚きを禁じ得ません。

今、財団理事長と本学園理事長を兼務、朝、徒歩で化血研に出勤し、稟議、要点などの確認後、朝10時前後に大学に出勤します。帰宅は大体19時半か20時頃というパターンです。大学では、色々な方とお話しし、職場等に出かけたりする時間が多くなっています。

この1年で熊本保健科学大学の良さ、皆さんが気付かれていないかもしれない改善すべき方向が見えてきました。浮かび上がったテーマは、本学のビジョン「リーディング大学への道」の道標となります。経営陣と教職員が一体となる一円融合と積小為大の精神で取り組んでいきたいと思えます。

企業で培い、改善を進めてきたこ

と、化血研問題を解決に結びつけたことは、本学の発展に役立てることができると確信しています。製薬会社では、「人々の生命・健康・生活の質(QOL)に貢献する」という一点にベクトルを合わせてきました。その一点に向け、薬に携わる全ての人(社長、管理職、現場職員、清掃やメンテナンスの協力会社、お取引先、物流)が一体となって、医療機関、最終の患者さんまで考え、完璧にこなさねば、安全で有効な薬の使用、即ち治療・予防には使えません。

医療に携わる医療人も同じだと考えます。ましてや、その人財を育成する大学です。社会に出て活躍する人たちをどう育てていくか? 我々はどうかあるべきか? これは、個人にとっても、将来にとっても重大なことです。急激な社会の変化を予測し、力を合わせたチャレンジです。

臨床実習振り返る ST3年報告会

リハビリテーション学科言語聴覚学専攻3年生が実習を振り返る臨床実習報告会が2月28日(月)、実施されました。

同専攻では例年、学外実習が終了した後、実習の振り返りを主な目的とした学内セミナーを経て報告会を行います。担当した患者の症例報告や、実習中に印象に残った訓練法など、内容は学生によって異なります。毎年の報告会に参加していると、実習でのさまざまな経験を振り返ることによって整理することの重要性を強く感じます。

実習を通して、言語聴覚士を目指す気持ちや自信が高まった人、逆に下がった人、反省点や改善点を見つけた人、そうでない人とさまざまです。少しでもより良い振り返りの機会となるように、寄り添って教育する意義は高いと考えます。

今年度も新型コロナウイルスの影響は大きかったですが、報告会での学生の様子を見ると、将来に向けてかけがえのない経験ができたのだと実感しました。

(言語聴覚学専攻・畑添 涼)

熊本セントラル病院と連携協定

学生の実習(主にリハ)、就職や共同研究等を柱とした連携協定が、2月10日付で本学と社会医療法人潤心会熊本セントラル病院(菊陽町)との間で締結されました。新型コロナウイルスの影響も考慮し、締結式は行わず、書面での協定となりました。

これにより、本学は新たに学生教育や研究の場を得、同病院は本学が有する医療系の専門知識や技術を活かすことができるようになりました。

本学はこれまで済生会熊本病院、熊本機能病院、くまもと南部広域病院、福田病院、朝日野総合病院との間で連携協定を結んでおり、今回で6施設目となります。

今週の1枚



水仙の花かれんに



キャンパススクエアの花壇に黄色い水仙の花が咲きました。かれんな姿を引き付けられ、思わずシャッターを切りました。花壇ではチューリップも芽を出し始めています。いよいよ春本番です。

◆大学院で一般選抜・社会人選抜（Ⅱ期） 2月26日（土）、令和4年度大学院一般選抜と社会人選抜（Ⅱ期）が実施され、5人が受験しました。昨年11月6日（土）に実施された推薦選抜・社会人選抜（Ⅰ期）の受験者と合わせると募集人員の10人を超える14人も受験しました。当日は、筆記試験（小論文と英語）と面接試験が行われました。合格発表は、3月4日（金）に行われます。

インフォメーション

週間行事予定（3月5日～3月18日）	
3 / 5（土）	後援会役員会
3 / 11（金）	卒業式・修了式
3 / 16（水）	理事会・評議員会